

書しよをを観かんてて感かん有あり

朱しよ

熹き

昨夜さくや江こう辺へん春しゆん水すい生しょうず

蒙もう衝しやう巨きよ艦かん一いち毛もう輕かろし

向こう來らい枉まげて費つひやす推すい移いのち力ちから

此このひ日ちやう中りやう流じ自ざい在に行ゆく

【作者】朱熹(一一三〇～一二〇〇年)、中国南宋の儒学者。字は元晦または仲晦。号は晦庵・晦翁・雲谷老人・滄洲病叟・遜翁など。また別号として考亭・紫陽がある。諡は文公。朱子(しゆし)と尊称される。祖籍は徽州婺源(現在の江西省)。南劍州尤溪(現在の福建省)に生まれ、建陽(現在の福建省)の考亭にて没した。儒教の精神・本質を明らかにして体系化を図った儒教の中興者であり、いわゆる「新儒教」の朱子学の創始者である。